

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	じゅにあサポート「かのん」		
○保護者評価実施期間	令和6年12月17日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	実務経験5年以上の職員が複数おり、職員間での情報共有を図っている。	些細な事でも気になった点などはお子さんが帰った後や翌日朝の打合せ等で伝え合えるようにしている。	伝え忘れが起こることがあるため、当日のうちに複数職員に情報として伝えて、他職員も知っている状況を作り、皆で情報の伝え忘れが無いようにフォロー体制を組んでいく。
2	通所するのを楽しみにしてくれているお子さんが多い。	お子さんの好きなこと・どういったものをやりたいのか等を直接お子さんとコミュニケーションを取りながら、確認及び実行している。	余暇活動の充実化(道具を増やす、遊びの把握・拡大等)をはかり、楽しくお子さん同士・お子さんと職員とで活動できる機会を増やしていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	今年度から連絡帳アプリを導入し使用しているが、まだアプリをきちんと使いこなすことが出来ていない。	保護者からの連絡に対して事業所で返答が出来ていない場面があり、保護者に不便をかけている。	2月からアプリ内で新たにチャット機能が追加されたため、有効活用しながら保護者も安心して使えるようにしていきたい。また、職員に対してアプリを理解してもらえよう勉強会等を開いていく。
2	その日のうちに記録できない事もある。職員によって夕方の忙しさが違う。	職員によって仕事量が違うため、適材適所な仕事の割り振りが必要。	次年度、改めて職員間で話し合いを行いながら業務の効率化や仕事の分担を行っていく。
3	夕方のお子さんの帰る時間帯に職員がバタバタしてしまっている。	保護者への引き継ぎの際に、本日の支援を行った職員が誰かを確認してから呼びに行くため、時間がかかってしまう。	各部屋・職員への連絡手段を作り、焦らずにお子さんをお呼びしたり、お迎えが来たことを伝えられるように手段を考えていく。(例:玄関から遠い部屋にスピーカーホンをつける等)